

今、後期クラス役員の皆さんを任命しました。組織や集団をつまきまとめたり円滑に機能させていくためには、お世話をする人が何人か必要になります。学校全体では、先日任命した生徒会役員の皆さんがその任務を担い、それぞれのクラスではクラス役員の皆さんにお願いすることになります。クラスがまとまれば学校全体がまとまり、佐世保中央高校風間部がさらに充実していくことにつながります。クラス役員として大変なこともあるでしょう。しかし「人のために尽くす」ことは「自分自身の成長にもつながる」のです。クラスのため、学校のため、そして自分自身のためにも与えられた任務を全うするよう期待しています。

さて、わずか四日間だけの休みでしたが今日から平成二十四年度の後期がスタートしました。先週金曜日の終業式の話覚えていますか。まだ四日しか経っていませんから覚えてくれている人がたくさんいると思います。話の終わりに、「凡事徹底」という言葉を紹介しました。誰でも出来る平凡なことを徹底して実践しよう、夢や目標を実現するには、簡単なことの積み重ねからスタートすることが大切です、という話をしました。

一つの例を紹介しましょう。通信制の職員朝会が終わって校長室に戻るのがだいたい八時三十五分過ぎです。皆さんの登校する足音が聞こえてきます。始業まであと数分しかありませんから、遅刻しないようにほとんどの人が急ぎ足になっているのが校長室からも窺えます。しかし残念ながら一日に十名前後、多い日で十五名から十六名遅刻する人がいま

す。中にはやむを得ない理由の人もいるでしょうが、「遅刻者ゼロ」の日がまだ達成されないのが大変残念です。

「時は金なり」あるいは「歳月人を待たず」という言葉を聞いたことがあるでしょう。時間は、お金、いやそれ以上に大切であり、また、年月はどんどん過ぎ去っていくものであるから、時間は大切にしなければならぬ、という昔からの教えです。

今皆さんは、大仰な言い方をすれば、これらからの長い人生をどう生きるかを決定づけるための貴重な時を過ごしているのです。その貴重な高校生活に与えられた時間には限りがあります。この時間を有効に使うために大切なことは、「時間を守る」ことなのです。

何も難しいことはありません。一人ひとりが「時間を守る」ことの大切さを自覚し、「時間を守る」ことを積み重ねていけば、将来への道が必ずや開けていくのだと確信しています。

企業の方が時々校長室を訪ねてくれます。私が「生徒に求めるものは何ですか」とお聞きすると、異口同音に「あいさつが出来る人」そして「時間を守る人」と教えてくださいます。さらに「時間を守る人は信頼できる」ともおっしゃいます。社会に貢献出来る人になるためにも、もう一度「時間の大切さ」について自覚してくれることを期待して私の話を終わります。